

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	非心電図同期 CT による大動脈弁石灰化スコアの信頼性と重度大動脈弁狭窄症診断能の検討：後方視的症例対照研究		
1. 研究の目的と方法	心臓の弁（大動脈弁）が硬くなり、狭くなる病気（大動脈弁狭窄症）は、進行すると心不全や突然死のリスクが高まります。この病気の進行度を知るために、CT 検査で弁の石灰化（カルシウムの沈着）を測る方法があります。特に、心臓の動きに合わせて撮影した CT（以下、心電図同期 CT）が正確な検査として使われますが、費用や放射線の影響があるため、全ての患者さんに行うのは難しい状況です。一方で、心臓の動きは考慮しない一般的な胸部 CT（以下、心電図非同期）でも、偶然、大動脈弁の石灰化が写ることが少なくありません。この研究では、心電図同期・非同期の CT 画像で定量的に測定した大動脈弁の石灰化を比較して、心電図非同期の CT 画像でどれくらい正確に測れるのか、また、それが病気の診断に役立つかについて、統計学的手法を用いて調べます。この研究が進めば、将来的に通常の CT 検査から病気のリスクを予測しやすくなり、早期発見や診断の負担を減らせる可能性があります。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2027 年 4 月 1 日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	2020 年 3 月 21 日から 2025 年 4 月 16 日までに慈恵医大本院で大動脈弁狭窄症の術前評価目的で心電同期心臓 CT および非心電図同期胸部 CT が同日に撮影された 20 歳以上の方。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。	
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3) 情報の種類	性別、年齢、CT 画像検査、心臓超音波検査	
	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3) の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 放射線医学講座
		氏名	大内 厚太郎
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
	(3) 当施設の 試料・情報の管 理責任者	東京慈恵会医科大学 放射線医学講座 佐久間 亨	
	(4) 共同で研究 を実施する 施設とその	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。	

	責任者	
6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 試料・情報の利用開始予定日：2025 年 9 月頃～	
【問い合わせ先】	機関名：東京慈恵会医科大学 放射線医学講座 研究責任者：助教 大内 厚太郎（おおうち こうたろう） 電話番号：03-3433-1111（内線 3361） 対応時間：平日 09：00 ～ 16：00	

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。